

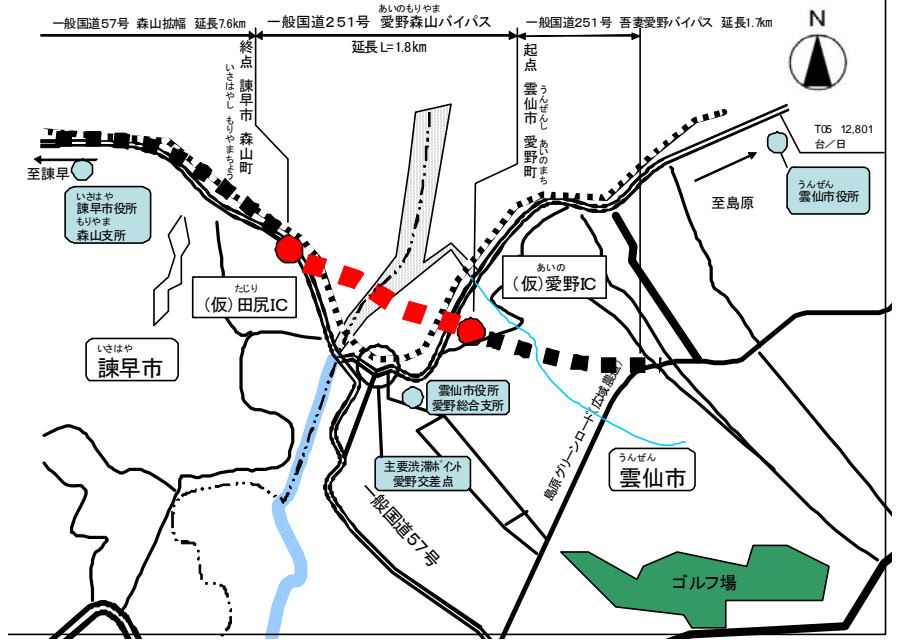
再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 <small>しまばら</small> 島原道路 一般国道251号 <small>あいのもりやま</small> 愛野森山バイパス	事業区分	一般国道 長崎県
起終点	自：長崎県雲仙市愛野町 <small>うんげん あいのまち</small> 至：長崎県諫早市森山町 <small>いさはや もりやまちょう</small>	延長	1.8km
事業概要 国道251号愛野森山バイパスは、地域高規格道路である島原道路の一部を担う延長1.8kmの道路であり、交通渋滞の解消及び交通事故の低減、県内2時間交通圏の拡大、長崎地域と島原地域の時間短縮による産業の振興及び救急医療の支援を目的としたバイパス事業である。			
H19年度事業化		都市計画決定 無し	
H19年度用地着手		H20年度工事着手	
全体事業費	約101億円	事業進捗率	64%
計画交通量	9,300台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)
	1.6 (残事業)	15/99 億円 (事業費：15/99 億円) (維持管理費：0.5/0.5億円)	161/161億円 (走行時間短縮便益：133/133 億円) (走行経費減少便益：20/20 億円) (交通事故減少便益：9.0/9.0 億円)
基準年：平成23年			
感度分析の結果 ：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=11.5 (交通量 +10%) B/C= 9.3 (交通量 -10%) 事業費変動：B/C= 9.7 (事業費 +10%) B/C=11.8 (事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=10.5 (事業期間+20%) B/C=11.0 (事業期間-20%)			
事業の効果等 ①交通混雑の解消 ・愛野交差点での渋滞の解消 ・国道251号の損失時間の削減 ②交通安全性の向上 ・国道251号の死傷事故件数の減少 ③地域間交流・連携の促進 ・主要地域間の所要時間が短縮 ④緊急医療活動の支援 ・第3次医療施設へのアクセス時間の短縮			
関係する地方公共団体等の意見 雲仙市等の地元市長より構成される「島原半島幹線道路網建設促進期成会」、「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」等より整備促進の要望が行われている。			
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成24年1月末までの事業進捗率は80%で、用地進捗率は100%である。 平成25年度の事業完成を目指して、本線部盛土工事及び愛野IC部工事を推進する。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得に時間を要し、土地収用法に基づく事業認定申請を行い、平成23年11月末に未買収地の取得が完了した。これにより、完了予定年度が平成24年度から1年遅れとなるが、平成25年度の事業完成を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 詳細な地質調査により、構造物の基礎工及び地盤改良工が変更となり、増額となった。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	事業の必要性及び残事業量を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。		

事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。